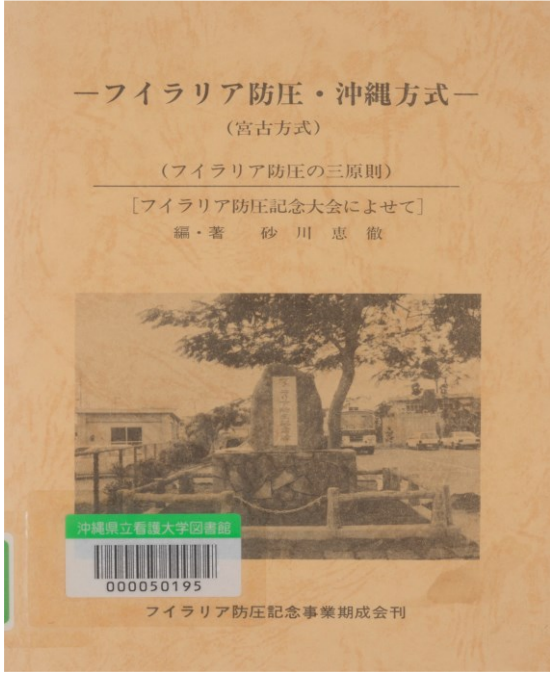


所蔵番号 001	収蔵年月日 2022年12月1日
資料名 フィラリア防圧・沖縄方式：宮古方式 フィラリア防圧の三原則 フィラリア防圧記念大会によせて	
著者・編集者	砂川恵徹
発行者・発行所	フィラリア防圧記念事業期成会
	発行年 1988年
解説	 <p>戦前・戦後を通じて沖縄で蔓延し、風土病と言われたフィラリアの防圧事業が、1965年日米琉の3政府合同により、宮古群島を皮切りに展開された。保健所や自治体、地域住民、研究者など関係者の地道な努力の結果、研究に裏付けられた検査や治療が行われ、成果が現れていった。その後、事業は八重山群島、沖縄本島で実施され、1978年琉球列島からフィラリアが根絶された。</p> <p>本誌は、1988年に開催されたフィラリア防圧記念事業の一環として発行されたものである。関係機関の責任者の挨拶の他、防圧事業に関わった関係者の証言、事業の体制や実施などの他、文献集やWHOセミナーに提出したレポート、記念誌以外の記念事業などが所収されている。</p>
	資料の閲覧
	Web 公開なし (マスキング なし)
	館内 公開あり PDFマスキングなし 閲覧可
	備考 著作権未処理のため現在大学リポジトリ(Web)では非公開

○次ページより目次をご覧ください。

目次

はじめに

祝辞

平良市長 下地 米一

WHO事務局長 中嶋 宏

沖縄県知事 西銘 順治

公衆衛生協会会長 稲福 盛輝

保健所長会長 大嶺 経勝

I、関係者の証言	1
（防圧事業に関わった各責任者）	
1 沖縄のフィラリア病が根絶されるまで	
東京大学名誉教授 佐々 学	3
2 フィラリア防圧記念大会によせて	
公衆衛生研究所長 吉田 朝啓	8
3 フィラリア防圧事業の思い出（行政担当の立場から）	
新里 芳雄	11
4 検血100%を合い言葉に	
環境保健部公害対策課長（元衛生課長） 大城 信雄	15
5 今、フィラリア防圧記念事業建立について思う	
元フィラリア防圧室長 下地 茂	18
6 究極の目標を求めて	
元フィラリア防圧室長 砂川 敬哲	24
7 宮古島におけるフィラリア防圧事業にかかわった思い出	
環境保健部予防課 波平 毅	28

8	島ぐるみでフィラリア病撲滅 平良市環境衛生課（元フィラリア担当責任者）本村 元享	31
9	懐しく憶うフィラリア撲滅活動 宮古保健所看護課長 仲田 八重子	34
10	フィラリア防圧対策に於ける昆虫班の業務活動から “ネッタイイエカの吸血活動時間帯が マイクロフィラリア媒介の及ぼす危険性について” 沖縄県立中部病院検査細菌室 元昆虫班 与那覇 武信 平良 恵貴 立津 博作 玉元 隆 砂川 正博	37

II、	フィラリア防圧・沖縄方式（宮古方式） （フィラリア防圧の三原則）	45
1	沖縄の風土病フィラリア	45
2	沖縄のフィラリア症（糸状虫症）の種類	46
3	その他のフィラリア	47
4	フィラリア防圧事業開始までのいきさつ	48
5	戦前、戦後におけるフィラリア症の主な調査成績	51
6	宮古島における事前調査及び防圧本部設置体制の準備	52
7	風土病対策予算の推移	53
8	宮古におけるフィラリア防圧事業の開始	55
9	組織と役割	56
10	地区組織と衛生教育	58
11	検診、鏡検	61
12	治療	65

13	蚊の駆除作業	68
14	検血成績と治療効果	71
15	事業成功に絶対必要だった市町村とマスコミの協力	75
III、	沖縄におけるフィラリアに関する調査報告(文献集)	79
IV、	フィラリア病防圧対策要綱	97
V、	実施成績	113
VI、	1965年WHOフィラリアセミナーへの提出レポート	141
VII、	フィラリア防圧記念大会関連事業	149
1	フィラリア防圧記念事業期成会・趣意書	149
2	フィラリア防圧10周年記念第20回沖縄県公衆衛生大会	152
3	紙上座談会	153
4	フィラリア防圧10周年記念集会(出版記念会)	154
5	宮古島におけるフィラリア防圧事業に参加した人々	156
6	思い出の人々	162
7	記念碑建立記念大会誘致までのいきさつ、及び実行委員会	168
VIII、	写真集	173
	参考文献	8
	おわりに	18
		24
		28